

会員への情報提供と 若手研究者に対する育成支援事業

■自主研究「消費者交流事業の展開とその効果に関する
調査研究」研究班会議

(七月二日、八月九日)

研究者が同席して、研究班会議と現地調査を行いました。

■北農五連委託事業に係る研究班会議

(七月一〇日、九月二〇日)

今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に
研究者が同席して打ち合わせを行いました。

■北農五連委託事業に係る現地調査

(七月三日、七月一九日、七月二三日、七月二六日、

七月三二日、八月六日～七日、八月九日、八月一九日～

二二日、八月二六日～二七日、八月二八日、九月九日～

一〇日、九月一七日)

今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に
研究者と同行して現地調査を行いました。

■ホクレン委託事業に係る研究班会議

(七月一〇日、八月一九日、八月二七日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

■自主研究「農村生活史・農協による生活インフラの形成と
課題に関する調査研究」研究班会議及び現地調査

(七月一九日～二二日)

研究者が同席して、研究班会議と現地調査を実施しました。

■ホクレン委託事業に係る現地調査及び情報収集

(七月四日、七月一六日～一七日、九月十一日)

研究者が同席して、情報収集を行いました。

■「令和元年度事業計画説明会」の開催
(七月二四日)

- (1) 北農五連幹部職員を対象に説明会を開催し、業務推進状況を報告しました。

- (2) 説明会終了後、研究事業報告会を行いました。

- ①テーマ「北海道における准組合員の実態と対応方向」

②報告者

北海道大学…佐藤信教授、

宮入隆教授

酪農学園大学…糸山健介講師

- ③報告会の内容は、本号の「研究所だよりコーナー」に掲載しています。



■北海道農産物協会委託事業に係る現地調査

(七月二七日、九月六日、九月二五日)

今年度、北海道農産物協会から受託した課題について、現地調査を行いました。

■令和元年度第四回理事会

(七月三〇日)

監事の辞任に伴い、役員推薦会議の設置と臨時総会の開催を決めました。

■自主研究「六次産業化・農商工連携の展開と農畜産物・食料市場のニューウェーブに関する調査研究」研究班会議と現地調査
(七月三〇日、九月二日)

研究者が同席して、研究班会議と現地調査を行いました。

■北農中央会委託事業に係る現地調査

(八月一日～二日)

今年度、北農中央会から受託した課題について、研究者と同行して現地調査を行いました。

■農研機構生研支援センター委託事業に関する推進会議

(八月六日、八月二二日、九月一八日)

事業の結果に係る成績検討会を行い、研究成果報告書の取りまとめ、報告を実施しました。

■令和元年度第二回役員推薦会議

(八月二二日)

監事の辞任に伴う役員選任として、推薦する監事候補者を決定し、候補者名簿を理事長に提出しました。

■共同研究の打合せ

(八月二九日)

J A帯広かわにしと、次期農業振興計画策定に関わる打合せを研究者が同席して行ないました。



■令和元年度第五回理事会

(九月五日)

監事の辞任に伴う候補者
(案)選任議案を、臨時総会へ
提出する事を決めました。

■令和元年度臨時総会

(九月五日)

- (1) 正会員総数 二四八会員
- (2) 当日出席 一七会員
書面出席 一九二会員
出席会員合計 二〇九会員
- (3) 辻監事の辞任に伴い、新たに西本監事 (J A北農中
央会…代表幹事) を選出し
て頂きました。

■北海道農業公社委託事業に係る現地調査(九月一〇～一二日)

今年度受託した研究課題に係る、現地調査を行いました。

■「令和元年度出版助成事業に係る選考委員会」の開催

(九月一七日)

- (1) 若手研究者の育成支援事業として取り進めており、慎重な検討を経て助成が承認されました。
- (2) 助成対象出版書籍
 - ①書籍名「(仮)果樹産地の再編と農協機能―愛媛県における専門農協と総合農協の合併による営農経済事業体制の再編を通して―」
 - ②申請者 板橋衛氏(愛媛大学大学院農学研究科教授)
 - ③出版社名 筑波(つくば) 書房
 - ④出版期日 令和二年二月予定
- (3) 選考委員会の選考理由
本書では、専門農協と総合農協の合併後における農協事業の実態分析から、合併農協の今日的な地域農業や地域社会の変化に対応した事業機能発揮の課題を研究しており、営農経済事業を中心とした農協事業の在り方について、研究提示した事を評価し、併せて、中堅・若手クラスの執筆者の今後の研究活動に期待して、出版助成の対象とするよう推薦しました。